

EIM アイム水中ポンプ ニュース

250HP大容量内冷形水中モータをUSAに納入 —新開発のコルゲート冷却エレメントを採用—

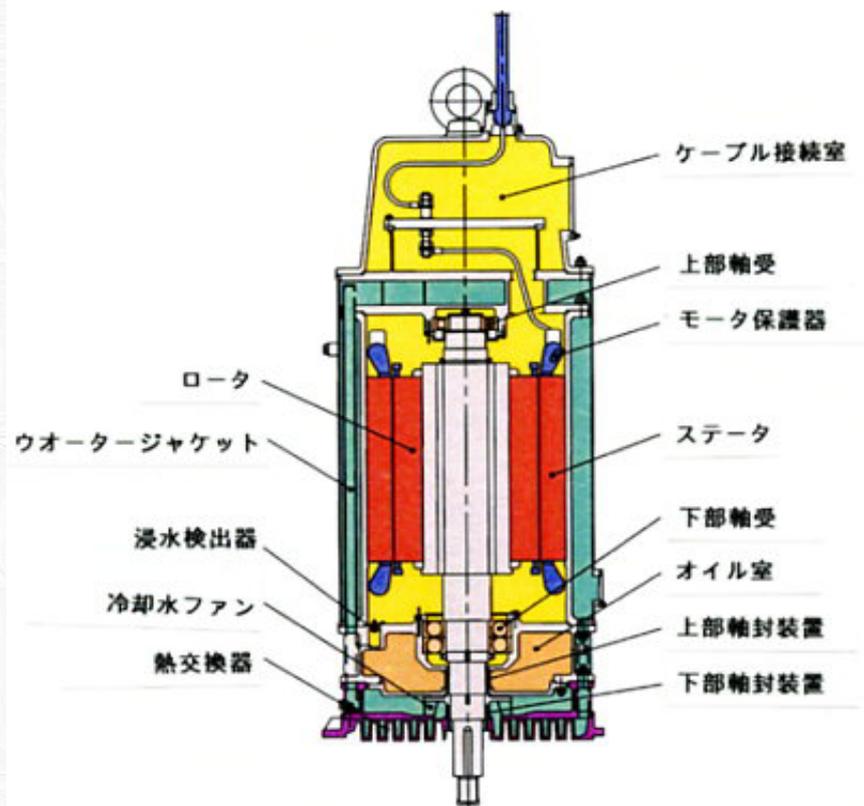
当社独自の特長ある冷却構造を採用した、気中連続運転可能・内冷形水中ポンプは、2001年に開発以来、主として汚水・汚物処理施設に納入されて来ていますが、今回過去最大容量の内冷形水中モータ EMK形 250HP 8極 2台 を完成し、USAのポンプメーカーに納入しました。

大容量のモータから発生する大きな損失を処理するために、熱交換器には今回新しく開発した、熱交換面積を大きくできるコルゲート（波形）冷却エレメントを採用しました。

これによって、熱交換器の冷却能は大幅にアップし、モータを冷却するウオータジャケット内の封入水の温度上昇値は低く抑えられ、モータサイズは、通常の水中で運転される水中モータと殆んど変わらず、コンパクトにすることが出来ました。



構造図



EMK-2508 250HP 8極 460V 60Hz